

2018. 6

(島根県道づくり調整会議)



道づくりだより 第124号



整備が進む山陰道 多伎・朝山道路

-Contents-

1. (一) 上久野大東線 金成工区 一部開通！
今年秋開通の(都)新庄飯田線3工区と接続(道路建設課)
2. 萩・石見地域を活性化へ！～山陰道の開通を見込んだ取り組み～(高速道路推進課)
3. 山陰道 三隅・益田道路 ふるいちほ古市場トンネル(仮称)が貫通しました！(高速道路推進課)
4. 島根県内の山陰道の整備状況(高速道路推進課)
5. 「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ(道路維持課)
6. 島根県の街路事業紹介(都市計画課)
7. 「林道 笹山山入線」全線開通(森林整備課)

(一) 上久野大東線 金成工区 一部開通！
今年秋開通の(都)新庄飯田線3工区と接続

平成30年5月26日一部開通

～事業の概要～

一般県道上久野大東線は、雲南市大東町上久野地内の県道安来木次線交点から雲南市大東町大東地内の県道松江木次線までの生活関連道路です。金成工区は同路線の終点側に位置し、金成橋から(都)新庄飯田線3工区に接続するまでの清田川左岸側を県道バイパス区間として整備を行ってきました。

現道は道路幅員が3～4m程度と狭く、通行車両の離合が困難な状況でした。また、通学路に指定されていますが、歩行者の通行が危険な状況でした。沿道両側には家屋が連なっていることから、(都)新庄飯田線の見直しに合せ平成22年よりバイパス整備を計画・実施しました。現道の通行車両がバイパスに流れることにより、歩行者の安全確保が図られます。

～計画平面図～



～接続後の事業効果～

この金成バイパスは都市計画街路事業(都)新庄飯田線3工区と終点で交差点接続するため、併せて事業を行っています。

今年11月には(都)新庄飯田線3工区(現道松江木次線)が完成すると金成バイパスが全線開通となります。開通時には、次の効果が期待されています。

上久野大東線から松江木次線への交差点渋滞緩和

現道の通学路の安全確保

～状況写真～



現道状況

狭いが、家屋連担地で拡幅は難しい状況…



バイパス開通状況

通過車両がバイパスを通れば歩行者も安全！

～開通式(一部開通)～

平成30年5月26日(吉日)、上久野大東線期成同盟会の主催により、終点側の新庄飯田線交差点部分を除く金成工区の通行安全竣工祭、竣工式が開催されました。当日は、松江城鉄砲隊(火縄銃等)による実演も行われました。



萩・石見地域を活性化へ！ ～山陰道の開通を見込んだ取り組み～

山陰道整備が着実に進む中で、今の時点から沿線地域が連携して山陰道のストック効果を最大限に高めるための方策を具体化し、山陰道沿線地域を活性化することを目的に本協議会を設立しました。

議論は、自治体が連携して取り組むことが必要な広域観光の観点から始めていきます。

■ 組織名

山陰道沿線活性化協議会

■ 構成員

自治体：島根県内の5市2町

(出雲市、大田市、江津市、浜田市、益田市、津和野町、吉賀町)

山口県内の3市1町 (阿武町、萩市、長門市、下関市)

島根県、山口県 (土木部局 + 関係部局が参加)

国：中国地方整備局



■ 協議会の設立に向けて

平成30年3月26日 設立準備会開催

平成30年6月 8日 第1回開催



平成30年6月8日 第1回協議会開催状況

■ 今後の取り組みのイメージ

- 既存の観光資源、周遊ルートの整理など

- 市場調査
- 地域資源調査 など

- テーマ、周遊性を加味したグループ化の検討
- 周遊を促す仕掛けの検討
- 情報発信方法の検討、広報アイテムの作成
- 観光資源の磨き上げ など

- ネット調査、試験的ツアーによる魅力度の検証

- 課題の抽出
- 取り組みの見直し

PDCAサイクルによる継続

■ 今後の取り組み (案)

◎自治体が連携して取り組むことが必要な広域観光の観点から議論をスタート。

[H30年度の取り組みイメージ]

- テーマに基づく広域観光の仕掛けづくり
- 観光施設の磨き上げ
- 情報発信方法の検討

ふるいちほ
山陰道 三隅・益田道路 古市場トンネル(仮称)が貫通しました！

国土交通省浜田河川国道事務所が工事を進めている山陰道 三隅・益田道路(石見三隅 IC～遠田 IC 延長15.2km)において、浜田市三隅町古市場地内の「古市場トンネル(仮称)」が貫通しました。

6月20日(水)に行われた貫通イベントでは、工事関係者や地元地区の方々など約100人が出席し貫通式が開催されたほか、三隅小学校5年生の皆さんによるお絵かき大会も行われました。

地元で造られる山陰道のトンネルが貫通する瞬間に立ち会ったり、お絵かきなどのイベントを通して、地域の方々に山陰道をより身近に感じてもらうたのではないかと思います。

古市場トンネルでは引き続き、トンネル内面を覆うコンクリートなどの工事が進められる予定です。



貫通前の様子



発破スイッチ ON!



大きな発破音がトンネル内に響き、奥から光が差し込みました。

発破!

古市場トンネル(仮称)の概要
 位置: 浜田市三隅町古市場地内
 延長: 247m
 着工: 平成29年10月
 三隅・益田道路の4本のトンネルの中では、新木部トンネルに続いて2番目の貫通となりました。



貫通を祝い万歳三唱



トンネル壁面の防水シートにお絵かき(三隅小5年生の皆さん)



工事中的様子(H30年2月)

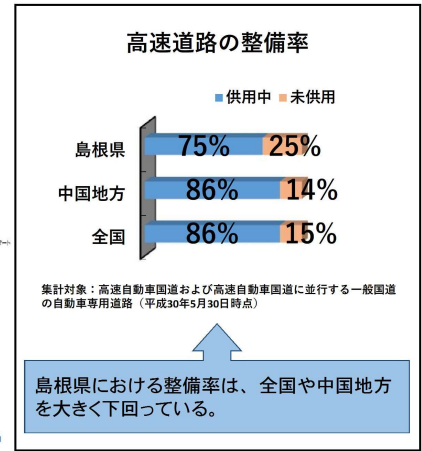
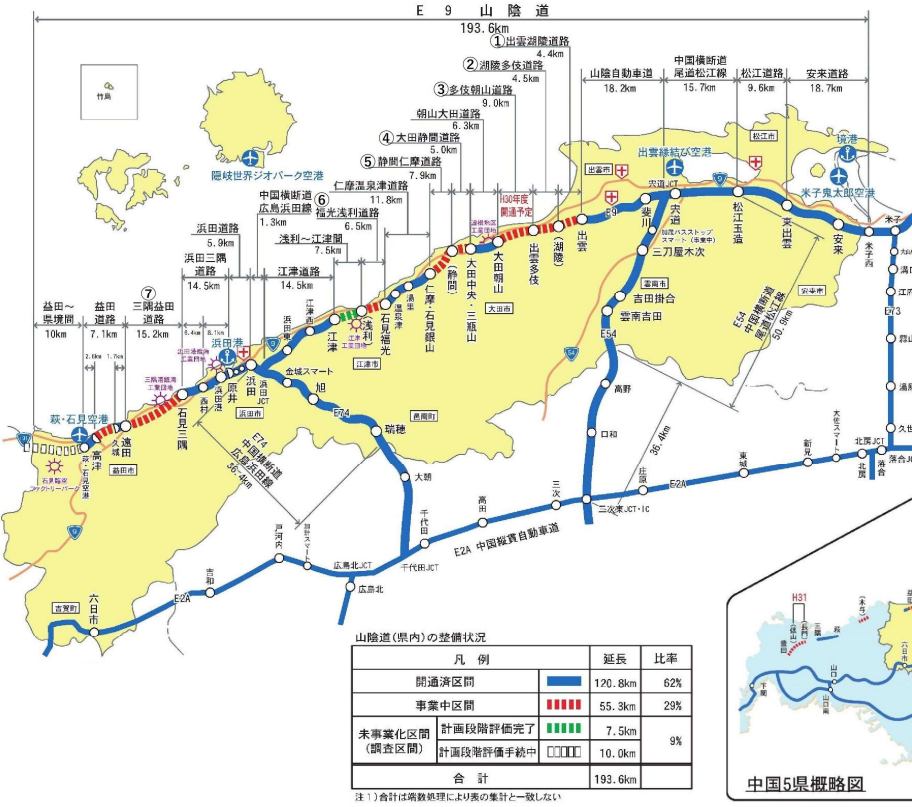


MR体験

ゴーグルを着けてトンネルを見ると...

MR技術(現実と仮想の重ね合わせ)により、道路の完成イメージなどを見ることが出来ます。

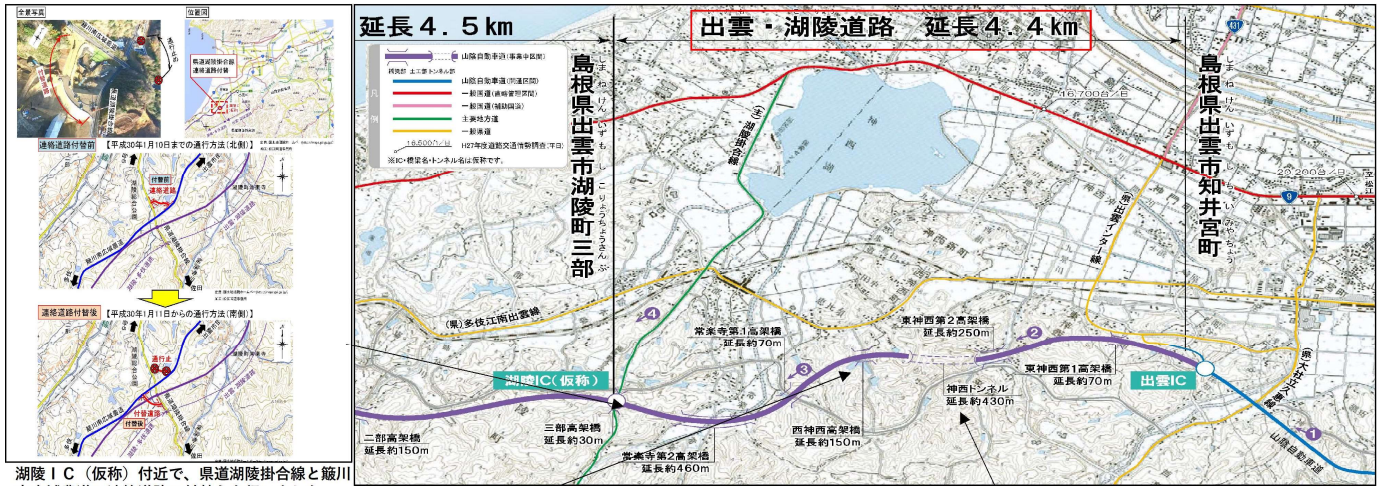
県内外の交流・連携や産業の活性化のために必要となる高速道路の整備は、山陽側や全国と比べて大幅に遅れています。現在、国土交通省により整備が進められている山陰道については、平成30年3月に朝山・大田道路が開通し、続いて平成30年度に多伎・朝山道路（出雲多伎IC～大田朝山IC）の開通が予定されています。今回は、鋭意工事が進められている山陰道の状況についてご紹介します。



① 出雲・湖陵道路 出雲IC～湖陵IC(仮称)



出雲湖陵道路は平成25年度から工事に着手しています。トンネルや橋梁下部工などの構造物工事や、本線・インターチェンジ部分の改良工事などが進められています。



湖陵IC(仮称)付近で、県道湖陵掛合線と箆川南広域農道の連絡道路の付替えを行いました。

にしんざい 西神西地区改良第3期工事

切土・盛土工事の施工状況

至 松江

至 大田

H30年5月末

西神西高架橋

至 大田

至 松江

H30年5月末

橋脚が完成しており、今後は橋梁の下部工(橋台)と上部工が施工される予定です。

しんざい 神西トンネル工事

トンネル内部掘削状況

自由断面掘削機

H30年5月末

伸縮・上下左右首振り可能なブームの先端に装備された回転式のボーリングビットで前方の岩盤を掘削します。

ボーリングビット

②湖陵・多伎道路

湖陵IC（仮称）～出雲多伎IC



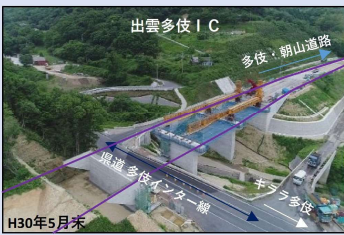
湖陵・多伎道路は平成27年度から工事に着手しています。橋梁上部工などの構造物工事や、本線・インターチェンジ部分の工事などが進められています。施工状況は簸川広域農道から所々で見える状態になってきました。

くむら 久村第2高架橋PC上部工事



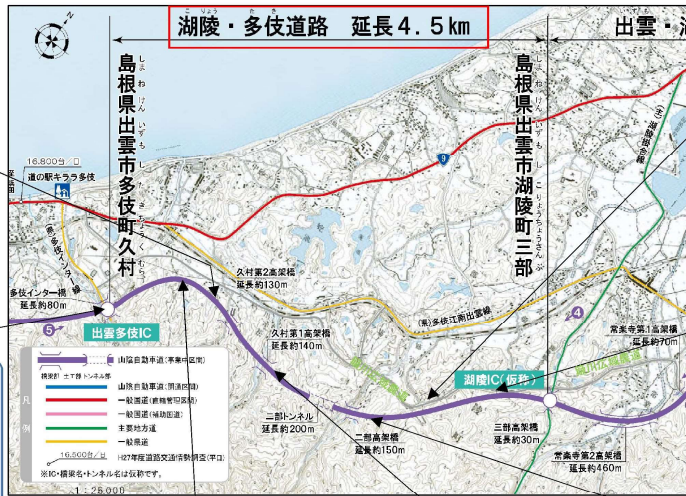
H30年5月末
橋桁が架設される予定です。

たき 多伎PC上部工事



H30年5月末
多伎・朝山道路の開通時に供用される出雲多伎インターチェンジでは、橋桁の架設が予定されています。

出雲多伎インターチェンジは国道9号沿いきら多伎から、県道多伎インター線を山側に約1km進んだ位置になります。



にぶ 二部地区改良第7工事



H30年5月
本線を横断するボックスカルバートの設置工事です。

さんぶ 三部地区改良第3工事



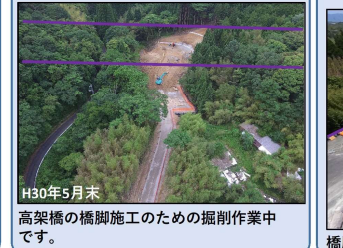
H30年5月末
切土・盛土工事の施工状況

くむら 久村地区改良第4工事



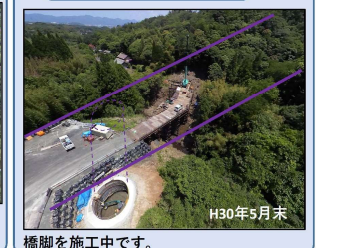
H30年5月末
盛土工事などが進められています。

くむら 久村第1高架橋下部工事



H30年5月末
高架橋の橋脚施工のための掘削作業中です。

にぶ 二部高架橋下部工事



H30年5月末
橋脚を施工中です。

③多伎・朝山道路

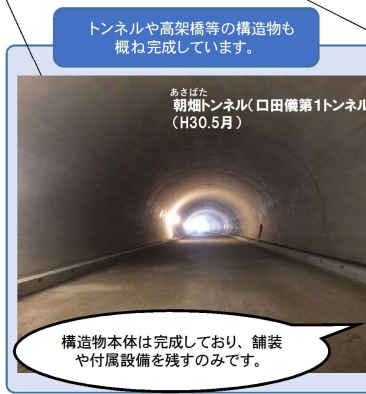
出雲多伎IC～大田朝山IC



多伎・朝山道路は平成20年度から工事に着手しており、今年度開通が予定されています。開通へ向け、改良工事や舗装工事、付属施設工事などが進められています。



道路が高い位置を通っており、眺めは最高です。



あさばた 朝畑トンネル(口田橋第1トンネル) (H30.5月)
構造物本体は完成しており、舗装や付属設備を残すのみです。



おた 小田高架橋(小田第1高架橋) (H30.1月完成)

④大田・静間道路 大田中央・三瓶山IC～静間IC（仮称）
 ⑤静間・仁摩道路 静間IC（仮称）～仁摩・石見銀山IC



大田・静間道路は平成27年度から、静間・仁摩道路は平成26年度から工事に着手しています。土工や橋梁下部工事のほか、五十猛トンネルや宅野トンネルなどのトンネル工事にも進められています。



全長1,830mの宅野トンネルは、県内の事業中の山陰道で最も長いトンネルです。

送風機でトンネル内を換気しながら掘削しています。

⑥福光・浅利道路 石見福光IC～浅利IC（仮称）



福光・浅利道路は平成28年度に新規事業化されました。平成30年度は測量、道路設計、用地買収が進められる予定です。



H30年9月

H30年3月

⑦三隅・益田道路 (石見三隅IC～遠田IC)



三隅・益田道路は平成27年度から工事に着手しています。
トンネルや橋梁下部工などの構造物工事や、本線・インターチェンジ部分の掘削工事などが進められています。



「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ

◇平成30年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品は次のとおりです

○最優秀賞（3作品）

きらきらの この道ずっと 守ろうよ

宮崎県 吉野 日穂さん（小学生の部）

踏み出そう 夢を広げる 今日の道

宮城県 横溝 麻志穂さん（中学生の部）

成長の 足跡残して 歩く道

大分県 宮邊 幸平さん（一般の部）

◎最優秀賞3作品のうち「きらきらの この道ずっと 守ろうよ」を今年度の代表標語とします。

○優秀賞（6作品）

【小学生の部】

『じこなしの わたしのまちの つうがくろ』

埼玉県 竹道 怜菜 さん

『道路はね みんなをおんぶ ありがとう』

岩手県 東根 瑞紀 さん

【中学生の部】

『あふれ出る 希望の一步 この道で』

東京都 永友 佳凜 さん

『たくさんの 未来を示す 道しるべ』

岐阜県 尾関 禅 さん

【一般の部】

『災害に 負けない町を 道路から』

福島県 佐藤 隆貴 さん

『パレードも 祭り神輿も この道路』

群馬県 小幡 由美子 さん

◇毎年8月は、「道路ふれあい月間」です。

道路の役割や重要性をあらためて認識し、道路をいつくしむ気持ちをもっていただくため、毎年8月を「道路ふれあい月間」と定めています。この月間中には全国で表彰をはじめとした様々な活動が行われます。

◇「道路ふれあい月間」推進標語とは

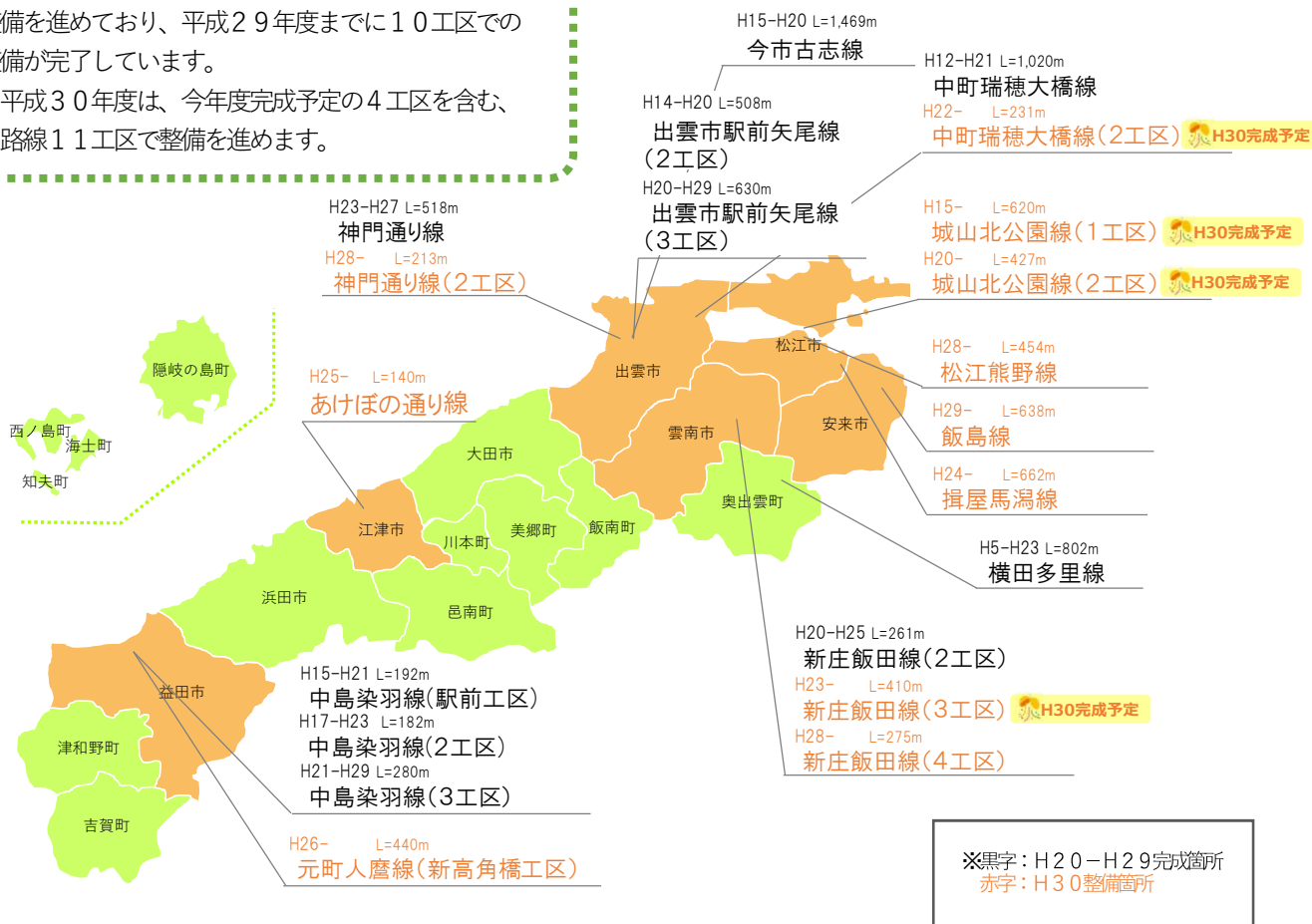
毎年1～3月頃に、「道路ふれあい月間」の行事の一環として、国土交通省が広く募集をしています。島根県では、募集期間には県庁道路維持課や各県土整備事務所、市町村役場において広報誌、ホームページなどで応募を呼びかけています。入選作については、ポスターやチラシなど、「道路ふれあい月間」における活動の推進に幅広く使用されます。

島根県の街路事業紹介

事業箇所 (H20～)

島根県では、平成20年度以降21工区の街路事業整備を進めており、平成29年度までに10工区での整備が完了しています。

平成30年度は、今年度完成予定の4工区を含む、9路線11工区で整備を進めます。



※黒字：H20～H29完成箇所
赤字：H30整備箇所

H30事業紹介

今回は松江熊野線、神門通り線(2工区)、元町人麿線の事業について紹介します。この3路線はすべて災害時の緊急輸送道路として指定されていますが、いずれも架橋後約80年を超える老朽化した橋が架かっていることから、耐震基準を満たす橋へ架け替えを行います。

橋梁の概要

松江熊野線

新大橋 橋長 L = 146.0m
鍛冶橋 橋長 L = 24.0m

◆松江熊野線 概要
施工箇所：松江市南田町～伊勢宮町
事業延長 L = 454m 幅員 W = 22.0m

神門通り線(2工区)

うがはし 宇迦橋 橋長 L = 63.6m

◆神門通り線(2工区) 概要
施工箇所：出雲市大社町修理免～杵築南
事業延長 L = 213m 幅員 W = 12.0m

元町人麿線

新高角橋 橋長 L = 246.0m

◆元町人麿線 概要
施工箇所：益田市須子町～高津二丁目
事業延長 L = 440m 幅員 W = 10.5m

※橋長は架替後の橋の延長です

これらの橋は、まちの景観を考える上で特に重要なポイントとなることから、有識者や市民の皆さまの意見を聞きながら、事業を進めています。

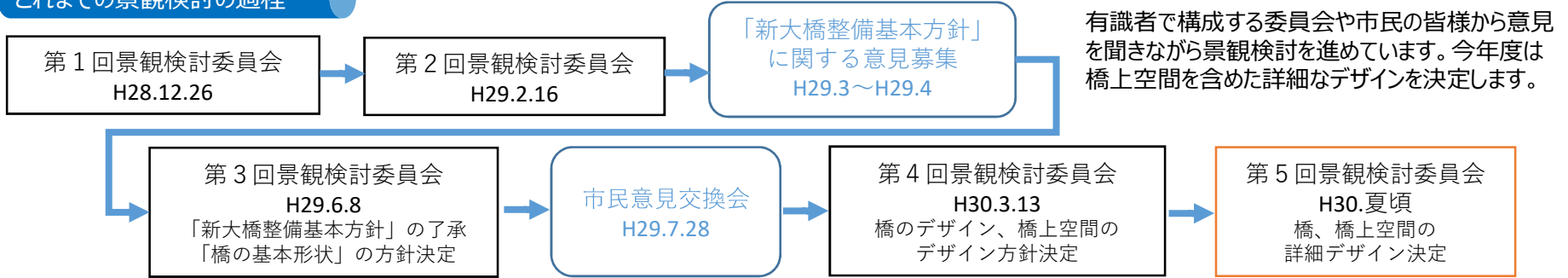
⇒次頁からは景観検討の状況についてご紹介したいと思います！



【新大橋（松江熊野線）】

～「水都・松江の風情を彩り、新しいふるさとの原風景をつくる橋」を目指して～

これまでの景観検討の過程



橋長・幅員構成等

- 橋長：146.0m
- 幅員：22.0m（全幅）
- 車道：13.0m（4車線）
- 自転車通行帯：1.5m（両側）
- 歩道：3.0m（両側）

橋の基本形状

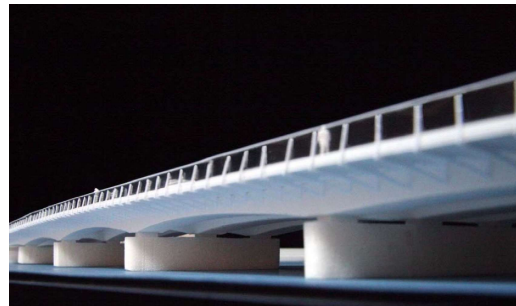
- 5径間
 - 主桁：鋼製、桁下面の変化あり
 - 張り出し大+支持部材
 - 桁、橋脚など橋全体のボリューム感を軽減
- 大橋川の風景をより引き立てる佳麗な橋

橋上空間のデザイン方針

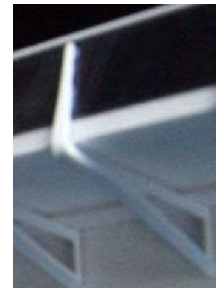
- 高欄の手すりは铸铁製、高欄の本体は横棧タイプ
- 敷き均し系の歩道舗装
- 歩車道境界に鋼製の防護柵
- フットライトを設置
- 歩道端部(地覆、歩車道境界)に渡ってみたいくなる、佇みたいくなる工夫

橋近景のデザイン

- 歩道の張り出し部の支持部材と高欄(欄干)が一体となったデザイン
- 繊細な印象で特徴的な外観の橋



繊細な印象で特徴的な外観



支持部材と高欄支柱を一体のデザインに



【宇迦橋（神門通り線2工区）】

祈りと出会いの道へ。出雲の国のかけ橋、新しい宇迦橋をわたる。

ワークショップ

- 第1回WS (H29.3.6)
- 第2回WS (H29.5.24)
- 第3回WS (H29.7.27)
- 第4回WS (H29.11.8)
- 第5回WS (H30.7.20)

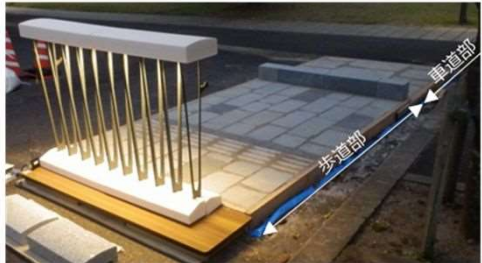
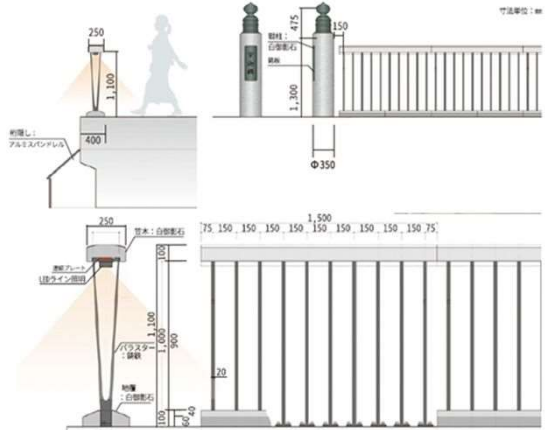
詳細は、今後神門通りニュースレター等で情報提供していきます

橋長・幅員構成等

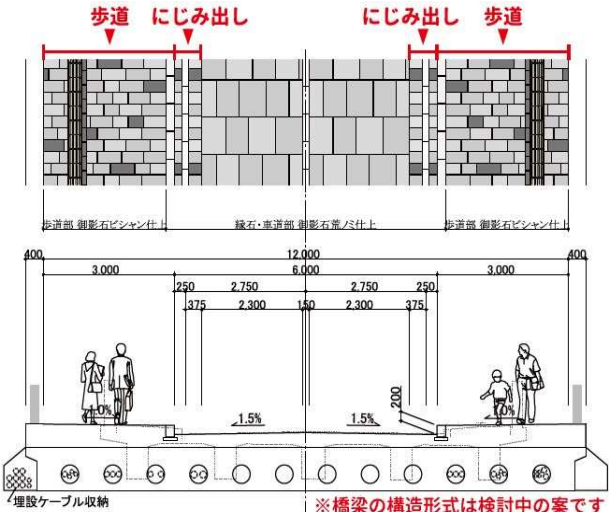
- 橋種：コンクリート道路橋
(PC2径間中空床版橋)
- 橋長：68.0m
- 橋面舗装：石畳舗装
- 幅員：12.0m (全幅)
- 車道：6.0m (2車線)
- 歩道：3.0m (両側)

高欄デザイン

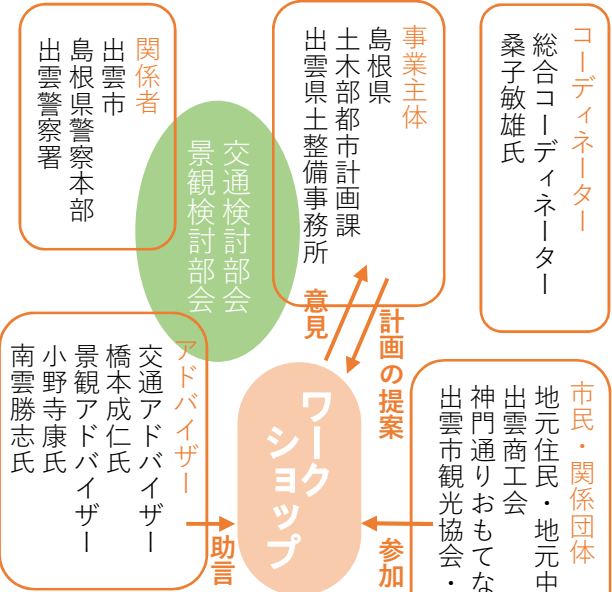
- 笠木及び地覆：白御影石
- デザイン高欄：鋳鉄製
- 高欄照明：LED



↑夜間の高欄と道路の見え方のイメージ (模型)

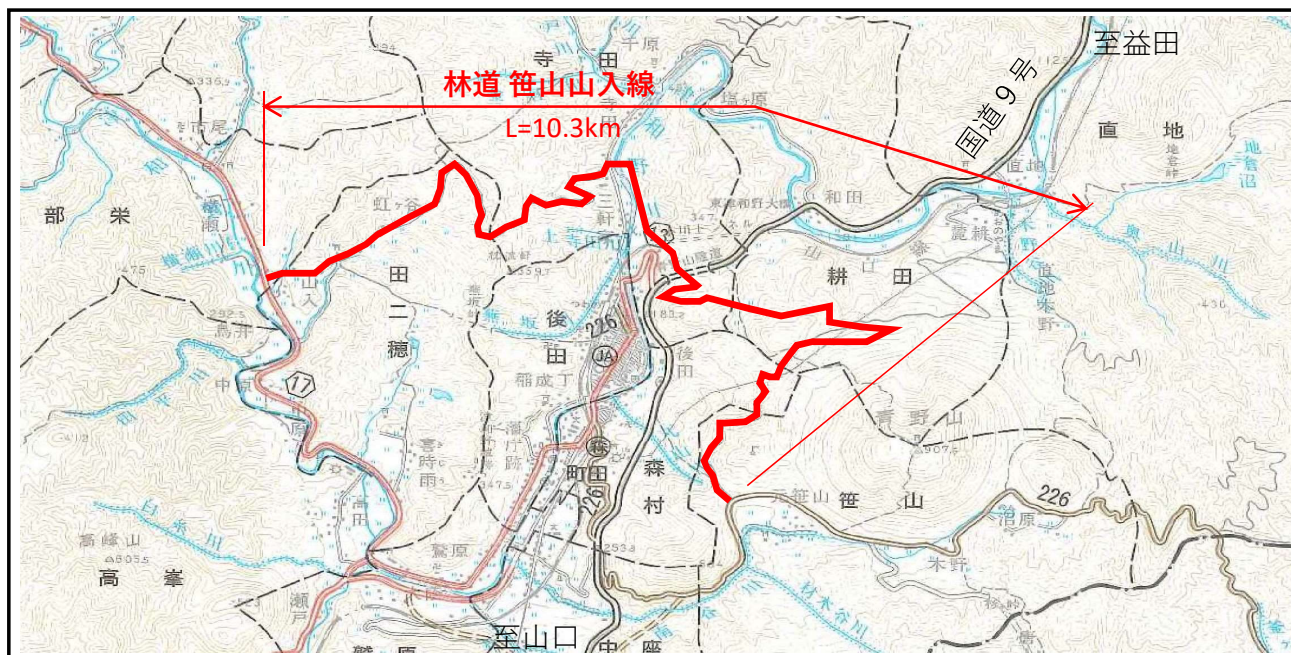


※橋梁の構造形式は検討中の案です



「林道 笹山山入線」全線開通

鹿足郡津和野町笹山から同町部栄を結ぶ「林道 笹山山入線」がこのたび開通し、津和野町主催の開通式が執り行われましたのでご紹介します。



林道 笹山山入線の紹介

この路線は、林野庁が昭和48年に策定した『大規模林業圏開発基本計画』を基に、長期的・総合的な地域開発を目的とし、大規模林業圏開発林道事業の中国山地公団幹線・支線林道山陰ルート「波佐・阿武線」の「津和野区間」として事業を進めてきました。

この開通により、林業を主体とした山村地域の振興を図るとともに、津和野町部栄地区から町の中心部をはさんで津和野町笹山地区、さらに吉賀町方面へのアクセスが改善され、生活環境の向上に寄与し、地域のさらなる活性化が期待されます。

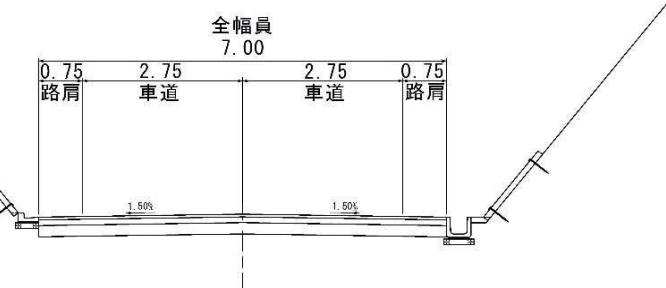


～笹山山入線の規格・構造～

笹山山入線は森林基幹道1級自動車道であり、林道としては高規格の2車線道路です。

全幅員（車線の外側を含む道路部全部）：7.0m

車道幅員（車線の内側車道部）：5.5m



ちなみに国道9号線の車道幅員は6.5mです

05月12日に行われた開通式の様子です

祝 辞

中村県議



益田県土整備事務所 田中所長



式典のあとは開通した笹山山入線に移動してテープカットが行われました

もちまきなどの催し物もあり盛り上がりしました



最後はパレードで締めくくり

